

元気いっぱい! 夢いっぱい!

菊池っ子だより

vol.132

市内の各小中学校で行われているさまざまな取り組みをピックアップしてご紹介します。

☎ 学校教育課 ☎ 0968(25)7231

校内人権集会&避難訓練



①生徒から消防署員へ感謝の言葉
②消防署員から消火器の使い方についても説明してもらいました。今後も学校全体で災害に対する危機意識を高めていきます



5月に行った人権集会では、旭志解放子ども会の狭山現地調査の話の他、生徒会から「みんながあらゐのままで過ごせる学校になるよう、人権学習に真剣に取り組みたい」と発表がありました。6月には避難訓練を実施。菊池広域連合北消防署の署員から避難時の注意点や防災に関する貴重な話を聞きました。

7月4日 トラブルに巻き込まれないために



全学年の生徒が参加し、貴重な話を聞きました。現在、ICT機器は、なくてはならないものになってきています。上手に活用して、有意義な中学校生活を送ってほしいです

いじめ防止教室を泗水ホールで実施。講師の宮崎奈那弁護士から、スマートフォンによるトラブルの事例や、法的に中学生でも罪になる話などを聞きました。生活安全委員長が、「正しい知識がないまま、スマホを使っていた。今後は事実かどうかしっかり判断して使用したい」と謝辞を述べました。

5月25日 地域の音頭復活!「新泗水音頭」



③地元出身の先生も指導に加わり、練習に励みました ④運動会では輪になって踊りを披露。今後も地域の音頭を大切にしていきたいです

新泗水音頭は、運動会や地域の祭りなどで長年踊られていましたが、コロナ禍の影響で途絶えていました。運動会での復活に向け、地域の民生委員児童委員の皆さんから踊り方を教えてもらい、みんなで練習。運動会当日は、全校児童と先生、地域の皆さんが輪になって踊り、みんなで復活を喜びました。

5月25日、6月21日 地域とともにある学校 さらに前進!



⑤来場者に練習の成果を披露 ⑥梅雨空の中でしたが、JA菊池青壮年部や地域、PTAの皆さんらのご協力で行いました

保護者や地域の皆さんの協力の下、校区運動会を開催。児童たちは学習の成果を披露し、校区の皆さんと楽しいひとときを過ごすことができました。また、今年の田植え・どろんこフェスティバルには、県立大学の学生や菊池農業高校の生徒も参加。幅広い世代と交流ができ、貴重な経験となりました。

5月30日 みんなで減らそう! 食品ロス



本授業は、ゆめマーケット熊本などが企画し、メディアにも取り上げられました。行動の輪が広がることを期待しています

4年生が食品ロスについて学びました。必要な分だけ購入することや、余っている食品は子ども食堂へ提供するなど、食品ロス削減につながる話を聞き、児童たちは「おやつを食べ過ぎないようにしたい」「棚の手前にあるものを買うようにする」など、身近な生活の中で、すぐに取り組めることを考えていました。

市内3高校の魅力を伝えます!

高校魅力化全力通信

vol.89



【問い合わせ先】
菊池高校
☎0968(25)3175

今年度から、熊本大学・菊池市菊池高校による連携プロジェクトがスタートしました。本プロジェクトは、市と熊本大学が取り組んでいる地場企業の若手経営者を対象にした「きくち未来創造塾」の一つのロールモデルとしています。

生徒たちは、地域で輝くかっこいい大人(同塾の塾生)と交流する中で、将来の働き方や生き方、さらには地域との関わり方について考えを深めていきます。プロジェクトを通じて「地域から必要とされる人材」が育っていくことを期待しています。

6月16日と20日には、未来探究コースと地域探究コースの2年生47人が熊本大学の金岡省吾教授、尾山真准教授の講義を受講しました。「菊池市の人口減少」と「人口減少に伴う地域の課題」について学び、身近な問題への理解を深めました。

2学期からは、同塾の塾生を講師に迎えて講義の他、探究活動の助言をもらいながら、学びを展開させていきます。一人でも多くの生徒が「地域の未来をつく



本校は昨年度、文部科学省より「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」に選定され、ICTを活用した文理横断的な探究学習の強化を進めています。

今年度から、VR(仮想現実)やAR(拡張現実)を使って、市の魅力を発信する活動やプログラミング・データサイエンスなど、情報教育の取り組みがスタートしました。

スマートアクティビティでは、プログラミング班を立ち上げ、レゴの小型コンピュータを使いながら、プログラミングの学習に取り組んでいます。



DXハイスクールが本格始動!

「ローカルイノベーション」として成長できるよう、取り組みを進めていきます。



6月に福岡県で行われた全九州高等学校ボクシング競技大会に、川口友香さん(3年)が女子ライトウェルター級に出場しました。

同階級は出場選手が2人で、川口さんは鹿児島県代表との決勝戦に挑みました。序盤から相手のスピードと圧力に押される展開となりましたが、川口さんは冷静に距離を取り、粘り強いファイトを見せました。しかし、1ラウンド32秒、レフェリーストップで惜しくも敗戦となりました。

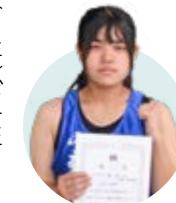
今大会でボクシング部を引退した川口さんは試合後、「継続の大切さを改めて実感しました。この貴重な経験に感謝し、次の目標に生かしていきたいです」と語りました。



川口さん④

「ボクシング部」九州大会に出場!

今夏には、高大連携の一環で生成AIのワークショップも開催されます。DXハイスクールの取り組みは、広報きくちや学校のホームページなどで今後も発信していきます。



今回のガイダンスは、今後を見据えた進路について考える良いきっかけとなりました



4月22日に、未来探究コースの2・3年生が熊本城ホールで行われた進学ガイダンスに参加しました。県内だけでなく、九州内外からも多くの大学が集まりました。

最初、生徒たちは大学のスタッフに声を掛けるのも恥ずかしそうにしていたのですが、徐々に学部ごとの特色や大学生活の様子などを積極的に質問したり、熱心にメモを取りながら聞いたりする姿が見られました。

2年生は夏休み中に興味のある大学へオープンキャンパスに行きます。3年生はいよいよ進路先決定に向けて、志望理由書の作成など、具体的な動きが始まります。

将来を見据えて進学ガイダンスに参加